

◎前回の学び22章を振り返りましょう。

◎創世記23：1－9を読みましょう。（人生で起きる出来事のなかで配偶者に先立たれることは、最も辛いこと）

1. 「サラの生涯」とはどのようなものでしたか（ヘブル11：11、Iペテロ3：3～6）。
2. 「悼み悲しみ、泣いた。」という言葉から、アブラハムのどんな気持ちがわかりますか。
3. アブラハムはヒッタイト人たちにどうして私有の墓地を譲ってくださいと言ったのですか。
4. ヒッタイト人たちはアブラハムのことをどう思っていましたか。「神のつかさ」＝神に選ばれた者
5. アブラハムはヒッタイト人たちの申し出に対して、どのように答えましたか。

◎創世記23：10－16を読みましょう。

1. エフロンはアブラハムにどのように答えましたか（「差し上げます」は「譲ります」の丁寧語）。
2. アブラハムはエフロンにどのようにお願いしていますか（「礼をし」は）。
3. エフロンが銀400シェケルと金額を申し出たところから、彼のどんな性格がわかりますか。
4. アブラハムはエフロンの申し出を聞き入れました。そこから彼のどんな性格がわかりますか。

◎創世記23：17－20を読みましょう。

1. ここまでのアブラハムとエフロンの交渉の中で強調されていることはなんですか。
2. その後「マクペラの畑地のほら穴」はどのように用いられましたか。
（25：9、35：29、49：31、50：13参照）
3. アブラハムとその子孫たちにとって墓地にはどのような意味がありますか。

* 終わりに、今朝の聖書箇所タイトル（主題）を考えてみましょう。

『

』